

1. 一般社団法人日本病理学会令和元年度秋期特別総会 のご通知（正会員各位）

来る令和元年11月7日（木）13時15分より14時25分までつくば国際会議場大ホール（茨城県つくば市）に於いて、一般社団法人日本病理学会令和元年度秋期特別総会（社員総会）を開催いたします。下記事項の審議となりますので、是非ともご出席くださいますようお願い申し上げます。

記

議 題

1. 令和2年度事業計画ならびに収支予算の件
 2. その他
2. 日本病理学会誌第108巻2号（学会抄録号）について
 - 1) 標記学会抄録集を会員向けに公開いたしました。
 会員専用HP（UMIN-IDとパスワードが必要です）
https://center6.umin.ac.jp/oasis/pathology/pdf/sokai_program_191007.pdf
 会員システム内よりダウンロード（会員番号とパスワードが必要です）
<https://member.pathology.or.jp/product/Cmn/WapCmn01P01.aspx>
 - 2) 名誉会員・功労会員の先生方には、前号までPDFデータをUSBメモリの形で郵送しておりましたが、今号から取りやめることといたしました。ご希望の方には個別に送付しますので下記E-mailからお申し込みください。
 - 3) 冊子体（印刷物）抄録集は有料となります。
 つくば総会会場（病理学会事務局デスク）にて販売いたします。
 会員 1冊 ¥1,000- 非会員 同 ¥2,000-
 - 4) 冊子体の郵送送付を希望の方は下記に従いお申し込みください。
 - ① 申し込み・問い合わせ先
 日本病理学会事務局
 E-mail: jsp-admin@umin.ac.jp
 - ② 申し込み方法
 「日本病理学会誌108巻2号購入希望」と件名に明記の上、以下の情報をe-mailにてお送り下さい。

1. 会員番号（非会員の場合はその旨を記載）
2. 氏名
3. 所属
4. 冊数
5. 送付先 ※会員は原則学会登録住所宛となりますので不要です。

③ お支払い

冊子に郵便振替用紙を同封しますので、到着から2週間以内に郵便局よりお振り込み下さい。請求書払等を希望される場合はその旨、お申し込み時にお知らせ下さい。

3. 一般社団法人日本病理学会役員選挙について（公示）

本学会の現役員（理事・監事）は、令和2年4月開催の第109回総会をもって任期満了となります。

令和2年度/3年度役員は、本学会定款ならびに役員選挙関係諸規定に従い、学術評議員の選挙によって候補者を選出し、第109回総会にて選任されることとなります。つきましては下記要領に従い、令和2年度/3年度役員選挙を実施いたします。

記

○選出方法：

役員選挙は区分ごとの立候補制とし、それぞれ定員を超える候補者がいる場合は、学術評議員による選挙（無記名オンライン投票）によって選出します。

○選出区分と定員：理事20名、監事2名

立候補希望者は下記選出区分ごとに立候補届を提出して下さい。なお、重複した区分に立候補する事はできません。

選出区分1：地方区選出理事 8名

- | | |
|-------------|-------------|
| 1-1 北海道支部 | 1名（支部長） |
| 1-2 東北支部 | 1名（支部長） |
| 1-3 関東支部 | 2名（内1名が支部長） |
| 1-4 中部支部 | 1名（支部長） |
| 1-5 近畿支部 | 1名（支部長） |
| 1-6 中国・四国支部 | 1名（支部長） |
| 1-7 九州・沖縄支部 | 1名（支部長） |

選出区分2：全国区選出理事（男女両性で構成するものとする）11名

選出区分3：口腔病理部会長兼全国区選出理事（歯科医師免許所有者）1名

選出区分4：監事2名

○被選挙人（立候補）資格者：

役員は関連諸規定より「就任年度4月1日時点での年齢が満63歳以下の者とする。」となっており、今回は昭和31年（1956年）4月2日以降に生まれた正会員（学術評議員・一般会員）が被選挙人資格者となります。

○役員立候補者募集要領：

1) 立候補届と被選挙人名簿への登載：

次期役員選挙に立候補される方は、学会ホームページから会員システムにログインし、ご自身の登録内容が最新の情報に更新されているか確認して下さい。特に被選挙人名簿に掲載されるご所属は、会員システムに登録されている情報が反映されますので、ご注意ください。その後、会員システムにて選出区分を選択してください。被選挙人名簿に登載されます。

<https://member.pathology.or.jp/product/Cmn/WapCmn01P01.aspx>

*立候補受付開始：令和元年10月15日（火）
12時00分（正午）

*立候補受付締切：令和元年10月24日（木）
11時59分

*各選挙区分において立候補者が定員に満たない場合は、公募期間を延長することがあります。その場合はHPに公示します。

*会員システムにて立候補完了後、すぐに受け取りのメールが配信されます。

2) 所信表明（必須）：

会員システム上で立候補申し込みの際に、400字以内の所信をご記入ください。

段落、インデント、改行やフォントや下線などによる強調は使えません（反映されません）。

*選挙管理委員会が必要と判断した場合は、本人に連絡の上、調整を行うことがございます。

3) 被選挙人名簿及び所信表明の掲載は届出順とします。HPにも掲載予定です。

○選挙実施要領：

1) 選挙人（投票者）名簿の確定

公示時点での会員システムに登録されている学術評議員とします。

[学術評議員名簿（9月末現在）] 会員専用

<https://center6.umin.ac.jp/oasis/pathology/election-meibo-191004.html>

2) 投票期間

会員システムでの投票開始日11月21日に投票権のある学術評議員にE-mailで投票開始のお知らせを配信致します。投票権のある学術評議員で、メールが届かない場合は会員システムのご自身の登録を確認の上、事務局までご連絡下さい。

*投票開始：令和元年11月21日（木）
12時00分（正午）

*投票締切：令和元年12月04日（水）23時59分

3) 開票

令和元年12月5日（木）結果は同日HPにて公表

○その他：

1) 理事長候補者は、令和元年12月22日（日）開催の新役員候補者会にて決定予定です。決定次第、HP等にて公表いたします。

2) 役員候補者に選出された場合、上記新役員候補者会へのご出席をお願いすることになります。

参照HP：

<http://pathology.or.jp/news/whats/election-191015.html>

4. 第6回ゲノム病理標準化講習会（2/1・大阪）開催のご案内

第6回ゲノム病理標準化講習会を令和2年2月1日（土）に大阪大学で開催いたします。

本講習会は、「ゲノム研究用・診療用病理組織検体取扱規程（羊土社：日本病理学会策定）」をテキストとして、ゲノム研究・ゲノム医療における病理組織検体の取扱いおよび組織バンキング等に関する講習になります。奮ってご参加くださいますようお願い申し上げます。

開催概要：

日時：令和2年2月1日（土）

9:30（受付開始9:00）から16:00

（終了後、受講修了証配布）

会場：大阪大学医学部 学友会館・医療情報センター
銀杏会館（阪急電鉄・三和銀行ホール）

プログラム：

http://pathology.or.jp/news/20200201genome_PG.pdf

募集人員：220名 先着順

問い合わせ先：日本病理学会事務局

jsp-admin@umin.ac.jp

単位付与等：

① 病理専門医更新のための病理領域講習4単位

② 病理専門医試験の受験資格「分子病理診断に関する講習会」。なお、専門医試験必須講習会についてはこちらを参照してください。

③ 分子病理専門医試験の受験資格。分子病理専門医受験のために必要な本講習会の受講資格としては、2018年度（10月、2月）開催分も有効となります。詳細はHPをご参照ください。

<http://pathology.or.jp/news/whats/genome-seminar20200201.html>

5. 「腹腔外発生デスマイド型線維腫症 診療ガイドライン2019年版」発行について

日本整形外科学会より標記の発行について案内がございました。自由に閲覧、ダウンロード可能となっておりますのでご活用ください。

参照HP：

<https://www.joa.or.jp/public/bone/pdf/desmoid.pdf>

6. 会員の訃報

以下の方がご逝去されました。

高山 和夫 功労会員 (平成31年4月21日ご逝去)
田中 昇 功労会員 (令和元年9月13日ご逝去)
田中 正則 学術評議員 (令和元年9月13日ご逝去)
今井 三喜 功労会員 (令和元年9月18日ご逝去)

お知らせ

1. 平成30年度乳幼児突然死症候群(SIDS)対策強化月間の実施について

令和元年11月1日(金)から11月30日(土)までは標記強化月間です。

詳細は以下厚生労働省ホームページをご参照ください。

https://www.mhlw.go.jp/stf/houdou/0000181942_00003.html

2. 令和元年度 死亡時画像診断(Ai)研修会

◆開催日時

1日目 令和元年11月23日(土・祝)
10:00～18:40(受付開始9:20より)
2日目 令和元年11月24日(日)
医師 9:00～15:30(受付開始8:30より)
診療放射線技師
9:00～16:00(受付開始8:30より)

◆開催場所

日本医師会館 1F大講堂及び3F小講堂
東京都文京区本駒込2-28-16
<http://www.med.or.jp/jma/about/access.html>

◆参加対象：医師もしくは診療放射線技師

◆定員：医師100名、診療放射線技師100名(2日間を通じて)

◆参加費：無料

◆申込み受付開始日時：11月5日(火)午前11:00～

◆参照HP：

http://www.med.or.jp/doctor/anzen_siin/ai/005160.html

3. 第6回日本医療安全学会学術集会

会期：2020年3月7日(土)～8日(日)

会場：東京大学

参照HP：<http://jpscsc.org/6thJPSCS/>

4. 「第61回藤原賞」候補者推薦について

標記賞につき、本学会からの推薦を希望される場合は、事前に公益財団法人藤原科学財団ホームページをご確認の上、11月25日(月)までに本学会事務局宛ご連絡下さい。

参照HP：<http://www.fujizai.or.jp/>

5. 国際マスイメージングセンター施設利用説明会・機器利用講習会

日時：令和元年11月22日(金)10:00～

場所：浜松医科大学 講義実習棟3階 302講義室

アクセス案内：

https://www.hama-med.ac.jp/uni_access.html

参加費：無料 ※要参加申込(参加申込締切・11月8日)

共催：日本質量分析学会中部談話会

浜松医科大学メディカルフォトリクス・コース

企画運営委員会

内容：

10:00～12:00 施設利用説明会

国際マスイメージングセンターの施設利用手続きについて説明します。

12:00～12:40 ランチョンセミナー

「IMAGEREVEALを用いたイメージングMSのデータ解析」(提供：島津製作所)

13:30～17:00 機器利用講習会

国際マスイメージングセンターの機器のデモンストレーションを行い、使用方法について学んでいただきます。

国際マスイメージングセンターHPに参加申込書がございますので、ご確認ください。

<https://www.hama-med.ac.jp/about-us/mechanism-fig/intl-mass/news/briefing14.html>

参加希望の方は、11月8日(金)までに参加申込書に必要事項を記入の上、Emailにてご提出ください。

Email：ims@hama-med.ac.jp

〈お問い合わせ先〉

浜松医科大学 国際マスイメージングセンター

〒431-3192 静岡県浜松市東区半田山1丁目20番1号

Mail：ims@hama-med.ac.jp

Tel：053-435-2086

日本医学会だより

JAMS News

2019年10月 No. 62
日本医学会

◆日本医学会公開フォーラム

第26回日本医学会公開フォーラムは「がん治療における正しい免疫療法の理解」をテーマに、10月26日（土）13:00～16:05、日本医師会館大講堂において開催。

組織委員長は、中釜 斉（日本癌学会理事長）。参加申し込みは郵便はがき、FAX、本会ホームページ（<http://jams.med.or.jp/>）にて受付。参加費無料。詳細は日本医学会ホームページに掲載。

◆日本医学会シンポジウム

第156回日本医学会シンポジウムは「腸内細菌は健康と疾患の根源か？」をテーマに、11月16日（土）13:00～17:05、日本医師会館大講堂において開催予定。

組織委員は、大野博司（理化学研究所生命医科学研究センターチームリーダー・腸管免疫学）、金井隆典（慶應義塾大学医学部教授・消化器内科学）の各氏。参加申し込みは郵便はがき、FAX、本会ホームページ（<http://jams.med.or.jp/>）にて受付中。参加費無料。詳細は日本医学会ホームページに掲載中。

◆医学賞・医学研究奨励賞の決定

選考委員会を8月30日（金）に開催し、2019年度の日本医師会医学賞・医学研究奨励賞の授賞が決定した。

日本医師会医学賞・医学研究奨励賞選考委員会委員並びに特例委員が、今年度の推薦数：医学賞18、奨励賞31を審査した。

選考の結果、11月1日（金）の日本医師会設立記念医学大会において、今年度の医学賞は3名、奨励賞は15名に授与される。

選考の結果は下記のとおり。

〈日本医師会医学賞〉

- ・がん遺伝子 *RET* と細胞運動制御因子 Girdin の発見と機能に関する研究/高橋雅英（名大・分子病理学）
- ・健康寿命に関する疫学研究と健康寿命延伸に向けた提言/辻 一郎（東北大・公衆衛生学）
- ・福山型筋ジストロフィーを含めた糖鎖合成異常症の系統的な解明・治療に関する研究/戸田達史（東大・神経内科学）

〈日本医師会医学研究奨励賞〉

- ・シナプス結合則から大脳新皮質の基本構築を探る/日置寛之（順天堂大・神経生物学・形態学）
- ・生体イメージングによる Central Nervous System Lupus 病態解明と新規治療法開発への挑戦/宮部斉重（日医大・細胞生物学）
- ・代謝機構の理解に基づくヒト iPS 細胞由来心筋細胞の作製とその応用/遠山周吾（慶大・循環器内科学）
- ・ROCK シグナルによるエネルギー代謝調節機構の解明と糖尿病腎症への治療応用/的場圭一郎（慈恵医大・糖尿病・代謝・内分泌内科学）
- ・脳腎連関を介した腎臓保護メカニズムの解明/井上 剛（東大・CKD 病態生理学）
- ・clonal hematopoiesis に注目した自己免疫性疾患の病態解明/寺尾知可史（理化学研究所）

- ・解糖系酵素に焦点を充てた脳アミロイド血管症の病態解明と治療開発/井上泰輝（熊本大・脳神経内科学）
- ・がん治療と就労の両立支援に関する研究と就労支援ツールの開発/遠藤源樹（順天堂大・公衆衛生学）
- ・糖尿病とがん：両者を繋ぐ複雑な関係を明らかにするための疫学研究/後藤 温（国立がん研究センター社会と健康研究センター）
- ・オートファジー・リソソーム機能を標的とした難治性糖尿病性腎症に対する新規治療法の開発/久米真司（滋賀医大・糖尿病内分泌・腎臓内科学）
- ・稀少難治性疾患（POEMS 症候群）に対する治療戦略の構築/三澤園子（千葉大・脳神経内科学）
- ・肺炎球菌ワクチン導入に伴う肺炎球菌の遺伝子組み換え機構および薬剤耐性菌拡散原因の解明/中野哲志（京大・臨床病態検査学）
- ・原発性肝癌における革新的治療開発を目指した腫瘍免疫とサルコペニアの網羅的解析/伊藤心二（九大・消化器・総合外科学）
- ・難治性耳管開放症に対する診断・治療に関する研究/池田怜吉（仙塩利府病院耳科手術センター）
- ・Neurovascular Unit の概念から導きだされる糖尿病黄斑浮腫の病態解明と新規治療戦略/臼井嘉彦（東京医大・眼科学）

◆医学用語管理委員会

10月30日（水）、12月17日（火）に開催予定である。

◆遺伝学用語改訂に関するワーキンググループ

医学用語管理委員会のワーキンググループ（WG）で、9月19日（木）に開催された。7月8日に日本学術会議から「高等学校の生物教育における重要用語の選定について（改訂）」が公表され、新聞でも大きく報じられた。「優性、劣

性」を高校の教科書で「顕性、潜性」と表記することを決定したとする内容であった。現在WGで検討中の課題であることからWGでは、「社会、医学、医療の分野を含めて総合することが望ましい。」として日本学術会議に申し入れを行った。10月1日（火）に両者で意見交換の場を持った。

◆「奇形」を含む医学用語の置き換えに関するワーキンググループ（仮称）

医学用語管理委員会のワーキンググループであり、本年度新しく発足する（座長：森内浩幸 長崎大学大学院教授・小児科学）。

◆2019年度分科会用語委員会

本年度は12月17日（火）14：00～16：00、日本医師会館小講堂にて開催予定である。

◆子宮移植倫理に関する検討委員会

日本医学会子宮移植倫理に関する検討委員会は、14名の委員から成る委員会で、2019年度に新たに発足した（委員長：飯野正光 日本大学医学部特任教授/日本医学会副会長）。4月3日（水）、5月28日（火）、7月26日（金）、9月11日（水）にそれぞれ開催され、11月20日（水）に第5回委員会を開催予定。

◆日本医学会定例評議員会

第87回日本医学会定例評議員会を2020年2月28日（金）14：00～16：00、日本医師会館大講堂にて開催予定。主な議題は1. 2019年度年次報告、2. 2020年度事業計画、3. 日本医学会新規加盟学会の件、4. その他である。

◆移植関係学会合同委員会

第38回委員会を書面決議にて開催した。審議事項は、新規腎臓移植実施施設の認定（鳥取大学医学部附属病院）である。